

水	1	大安	
木	2	赤口	
金	3	先勝	
土	4	友引	
日	5	先負	定休日
月	6	仏滅	
火	7	大安	初午宵宮
水	8	赤口	初午大祭
木	9	先勝	
金	10	友引	
土	11	先負	
日	12	仏滅	休日営業
月	13	大安	
火	14	赤口	
水	15	先勝	
木	16	友引	
金	17	先負	
土	18	仏滅	
日	19	大安	休日営業
月	20	赤口	定休日
火	21	先勝	
水	22	友引	
木	23	先負	
金	24	仏滅	
土	25	大安	
日	26	赤口	定休日
月	27	先勝	
火	28	先負	
水	29	仏滅	
木	30	大安	
金	31	赤口	



リニューアルオープン  
の  
宣長記念館

朝日山さくら花  
やまのつぼみ  
しきまのつぼみ

月刊ギャラリーさん 会いふれあい 全国茶の湯紀行  
第②回は松阪市「本居宣長記念館」です

江戸時代の国学者、本居宣長(1730~1801年)を顕彰する本居宣長記念館(松坂城史跡内)が、3月1日にリニューアルオープンし、内装を一新し宣長の生い立ちや業績を分かりやすく展示する。その記念として、春の企画展「会う、継ぐ、めぐるー宣長の出発展」(6月4日まで)を開催。数年ぶりとなる「本居宣長七十二歳像」など115点を展示する。県では、10月14日に津市の県総合文化センターで、本居宣長サミットを開催し、また9月末~11月末には県立美術館で宣長の絵画や書などを集めた「本居宣長展」も開催されるなど、宣長を顕彰する機運が各地で高まっている

【日本100名城松坂城】

松坂城は、天正12年1584羽柴秀吉により松ヶ島城に封ぜられた蒲生氏郷が、飯高郡矢川庄の四五百(よいほ)の森独立丘陵に目をつけ、同16年1588に急ピッチで完成させた平山城である。豪荘な石垣は松阪のシンボリック的存在。桜や藤、銀杏の名所で石垣城跡からは城下町の面影を残す町並みが一望できる。正保元年1644台風のため倒壊し土台だけになり、以後紀州藩領として明治維新を迎えた。平成23年2月7日国の史跡に指定された



【今井景樹】明治24年(1891)鈴鹿郡関町生まれ。名、康。円山派の今尾景年に学び、養子となるのち復籍。花鳥画を得意とした。昭和42年(1967)没

The お道具拜見 3月号は【季節のお軸】です

【小堀亮敬】孤篷庵住職 昭和43年生 大徳寺管長 嶺雲老 大師のもと 大徳寺僧堂にて修行。庵号の「孤篷」は「一艘(いっそう)の苦舟」の意で、小堀政一(遠州)が師事した春屋宗園から授かった号である。また喜左衛門井戸茶碗は不味没後に孤篷庵に寄進された。



一行 頭上漫々脚不漫々 ¥49,000



山桜に鳥横物 共箱 ¥570,000

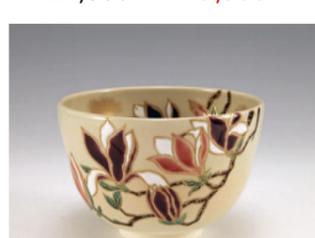
第③回「夜咄」プチ茶会にはたくさんのご来喫ありがとうございました。当日の会記を掲載いたします。



- 本席 淡々斎一行 紅炉一点雪 建水 蓋置 菓子 菓子器
- 香合 仁清写鴨 真葛長造
- 釜 淡々斎好 蓬萊釜 淡々斎箱
- 水指 備前 安倍安人
- 茶器 一閑塗梅絵茶桶 如心斎箱
- 茶碗 黄伊羅保
- 茶杓 一燈共筒 又妙斎箱 梅芳

- 鵬雲齋好 毛織累座
- 覚々斎 竹
- 鶯餅 清甘堂製
- 乾山写梅鉢 芳山造

3月号 お買得商品 現品限り についてのお問合せは、お電話又はメールにてお待ちしております。 ☎ 0598-21-3178

			
喜多庄兵衛 モウル桜華蓋置 ¥28,500 → ¥19,900	新井京華 墨紫桜茶碗 ¥23,700 → ¥16,600	相模竜泉 枝垂桜茶碗 ¥27,800 → ¥19,500	美峰 色紙茶箱 ¥70,300 → ¥49,000
			
宮川香雲 色絵桜茶碗 ¥70,000	寺尾陶象 桜茶碗 ¥32,000 → ¥22,500	加藤永山 木蓮茶碗 ¥10,400 → ¥7,300	オランダ茶碗 三点セット ¥14,700 → ¥10,200 2点セットで更にお得 ¥59,200 → ¥55,000



鶯神楽 ウグイスカグラ  
すいかずら科の落葉低木。開花時期は三月から四月で山地に自生する日本の固有種で薄紅色の小さな花を葉の付け根から釣り下がるように咲かせる。鶯が鳴きはじめる頃に花が咲くのでこの名前になったとも、鶯がこの花や実をついばむ姿が神楽を踊っているように見えたからともいわれている

ご案内  
当店では、皆様にお抹茶を楽しんで頂けるようお待ちしております。近くにお越しの際は気軽に遊びにいらして下さい  
(女性スタッフより)  
お客様の要望に応じて社員が定期的に三重県内にお伺いさせていただいております。何なりとお申し付け下さいませ。  
今月の店内 お雑さんは4/3まで大丈夫です  
ギャラリー森田ホームページ gallery morita スタッフぶろぐ  
http://ameblo.jp/gallerymorita/  
facebook ご覧ください!  
■ご不要になりましたお道具などどうぞお売り下さい。  
月刊「ざらりいさん」編集プロジェクト  
ギャラリー 森田



月刊 いつもの ギャラリーさん  
(題字・三輪休和)  
89号  
2017年3月発行

今月の gallery



楽日入 長次郎写検校茶碗 当代極  
利休が長次郎方で選り残されてあったこの茶碗を見て「これほど良い茶碗を取り残したとは皆々検校殿よ」と言った逸話によるものである。検校とは中世・近世の盲官の最高の名称で、利休は道具の目利きのできない人を入を「検校」と呼んで、皮肉ったと言われている。